

避難生活で被害を拡大しないために！

次の災害に備えるための 『避難者支援拠点アセスメント訓練』

参加要項

＜＜三重県内版＞＞

実施日：2014年1月25日（土）
・ 2月23日（日）

-申込み〆切-

2014年1月8日（水）

■申込み・問い合わせ先

日本財団 次の災害に備える企画実行委員会

事務局（ダイバーシティ研究所）

E-MAIL：tokyo@diversityjapan.jp

TEL:03-6233-9540

1. 訓練概要

日 時 | 2014年1月25日(土) 10:30~17:00

・ 2月23日(日) 13:30~17:30

会 場 | 紀北町社会福祉会館 (紀北町紀伊長島区東長島 209-9)

主 催 | 日本財団 次の災害に備える企画実行委員会

後 援 | 三重県(予定)

参加対象 | 参加方法は2通りあります。下記の①②いずれかでのご参加をご検討ください。

①紀北町社会福祉会館にて計2日の訓練に参加

★1月25日同会館にて10:30~17:00の間、訓練に参加できる方

★且つ、2月23日に同会館にて13:30~17:30実施の講座に参加できる方

②インターネットを介して1時間の訓練に参加

★1月25日15:00~16:00の間、インターネットにつながる環境にあり、SNS (Facebook等)を介したコミュニケーションが可能な方。自宅・事務所からの参加が可能です。

※①、②いずれも、三重県内で活動しているNPO・企業・対人援助の専門職の方、介護・福祉関係の地域活動をされている方が対象です

※①、②いずれも、参加ご希望の方は2014年1月14日(火)13:00~16:00に実施される事前会議にご参加ください

(場所:三重県津市 アスト津3F みえ市民活動ボランティアセンター内 会議室)

定 員 | ①20名 ②20名

参加方法 | メールタイトルに【アセスメント訓練参加】と記入し、メール本文に下の内容を明記し、下記メールアドレスまでお知らせください。

- ・ 氏名(ふりがな)
- ・ 所属団体名(ふりがな)
- ・ 所属団体住所 又は 参加者住所
- ・ 連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス(PC用)
- ・ 「①として参加」 又は 「②として参加」 のいずれかを明記

申込み先 | tokyo@diversityjapan.jp

参加費 | 無料

2. 企画の背景

東日本大震災では宮城県内だけで最大で30万人を越える人々が、体育館や公共施設などで避難生活を送りました。私たちは東日本大震災直後に「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」を組織し、宮城県内の避難所を巡回して状況の網羅的で定量的な把握につとめ、NPOの専門性を活かして、必要な支援を効果的に届けることを目的として活動を展開しました。被災地において最も支援が必要であると思われる障害者、外国人、難病患者、高齢者、被災児童などの少数者のスペシャルニーズに対して、平常時から少数者の課題解決のために活動しているNPO・地域福祉関係者だからこそできる支援があります。また、今回の大震災では、避難所での生活が長期に及ぶと、避難所の中の高齢化率は上がり、多くの方々が「特別な課題」を抱えた存在になる現実を目の当たりにしました。

そこで私たちは、従来の避難所を、周辺地域の在宅被災者を含めて一人ひとりの特別な課題に備える「被災者支援拠点」にする試みや、その実践的な運営訓練に取り組んでまいりました。しかし、大規模災害時には一拠点内の備え、運営力向上だけでは解決できない課題も多数発生が予測されます。そのため、この度は、より効果的な支援のために、地域の被災地支援拠点を中心に被災地のニーズを定量的に把握し、特別な課題を地域の内外のNPOや専門家団体、企業等につなげて解決するしくみのブラッシュアップに挑戦します。

3. 事前会議

【開催目的】専門性のあるNPO・個人が集い、災害発生後3日目～1週間間の間の訓練対象地域のニーズの総量の予測をおこないます。当訓練が前提とする被災状況において、地域内の暮らしの中で発生するニーズ票を300件程度作成します。

【日 時】 2014年1月14日(火) 13:00～16:00(3時間)

【場 所】 三重県津市 アスト津3F みえ市民活動ボランティアセンター内 会議室

4. 当日のプログラム

この訓練は、一部のプログラムが紀北町社会福祉協議会主催「災害時ボランティアコーディネーター養成講座」との合同訓練になります。

本要項に応じて参加される①の参加者は「エリアマネージャー」として地域アセスメントを主導的に行う役を担っていただきます。②の参加者はそれぞれの地域から被災者のニーズを知り、支援を行う役を担っていただきます。

2014年1月25日(土)	
10:30 ~12:00	(紀北町社会福祉会館) 集合 ・ 自己紹介 参加者①約20名、次の災害に備える企画実行委員会関係者 ・ 当日の進行確認 ・ 会場設営
	(昼食) ※昼食は各自ご持参ください
13:30 ~ 15:00	紀北町社会福祉協議会主催：ボランティアコーディネーター養成講座 「ひとりひとりを大切にしたい災害時支援とは ~多様な避難者のニーズに応える支援のありかた~」 講師：田村太郎(一般財団法人 ダイバーシティ研究所) 1) 座学(13:30~14:00) ・ 「つなプロ」の東日本大震災での目的、活動意義、結果 ・ アセスメントとは ・ アセスメント訓練を必要とする背景 2) <u>訓練・前半</u> ニーズの総量把握訓練(14:00~15:00) ・ 南海トラフ巨大地震の被害想定より -三重県の被害想定を知る □ 備蓄状況を知る ・ 発生するニーズを知る ➤ ボランティアコーディネーター養成講座参加者は10グループにわかれ、グル

	<p>ープごとに三重県南部 10 地域を担当。</p> <p>➤ 「エリアマネージャー」役は各グループに 2 名配置。</p> <p>→<ワーク> ニーズへの対応をどこに (地域内・ 県内・ 県外) 求めるかを分類する (事前会議で準備しているニーズ票の読み込みと仕分け)</p> <p>・ 「つなぐ」 訓練について説明</p> <p>→ 県外に分類されたニーズを対象に、 15:00 以降に 「つなぐ」 訓練を実施</p>
15:00 ~ 16:00	<p>(※15:00 以降は、次の災害に備える企画実行委員会 主催訓練)</p> <p>3) 訓練・ 後半 外部への発信 「つなぐ」 訓練</p> <p>・ 専門職団体・ NPO・ 企業の WEB 参加者はデータベース、 SNS へアクセス</p> <p>1. エリアマネージャーが SNS へニーズをアップロード</p> <p>2. 対応できる案件について、専門職団体・ NPO・ 企業は SNS 上で返答</p> <p>3. エリアマネージャーが対応結果を入力</p>
16:00 ~ 17:00	<p>4) つなぎ訓練をふりかえる</p> <p>・ 「つなげたニーズ」「つなげなかったニーズ」を確認する</p> <p>・ 「つなげなかったニーズ」への対処を検討する (→2 / 23 迄の宿題に)</p>

2014 年 2 月 23 日 (日)

13:30 ~ 15:30	<p>紀北町社会福祉協議会主催：ボランティアコーディネーター養成講座</p> <p>「 人交密度の高い地域づくりと災害時支援 ~ 平時につながりを育てるために ~ 」</p> <p>講師：川北秀人 (IHOE[人と組織と地球のための国際研究所])</p> <p>村野淳子 (大分県社会福祉協議会)</p>
15:30 ~ 17:30	<p>(※15:30 以降は、次の災害に備える企画実行委員会 主催講座)</p> <p>「 災害時に稼働できる人材を地域に増やすために 」</p> <p>講師：同上</p>

以上